



◆新校舎の位置図

中学校が建て替えに 新校舎は中央小学校に併設

比布中学校の改築工事が平成29年度から始まります。現校舎は昭和53年に完成。約40年が経過し、老朽化による耐力不足で建て替えとなります。新校舎は3階建てで中央小学校に併設して建設され、両校が渡り廊下でつながります。武道場を新設し、体育館とグラウンドは小学校と共用。平成30年の2学期から使用開始の予定です。



一日体験入学（部活動体験）



一日体験入学で6年生に音楽を教える比布中 道場梨恵教諭

素直で元気に歌う6年生の姿にふれ、生涯にわたって音楽を楽しめる豊かな心を育てていきたいと感じました。

めになった」などの声が寄せられ、教諭からは「小、中学校とも互いに対する理解が深まった」などの感想がありました。

また、「一日体験入学」を今年度から始めました。授業を受けるだけではなく、給食や部活動と中学校生活を丸一日体験することでイメージを身近なものにし、教諭や在校生との関わりなど、進学時に生じる不安の解消に努めています。

この他にも両校では、授業の準備や取り組み姿勢などを定めた「授業の心得」や家庭学習の手引きなどの内容を整理し、共通した指導を進めています。

心を育てる

連携事業は生活面もサポートしています。

「生活リズムチェック」により睡眠や学習、読書時間などを調査・分析し、生徒指導に役立てています。

調査からは、学年が上がるにつれて学習時間が減ることがわかりました。宿題を出すことで家庭学習の習慣を身につけるよう指導したり、朝読書の時間を設け、文章にふれる機会を作るなど、子どもたちの現状を把握して課題を明確にし、より具体的な指導へとつなげています。

また、中学生が小学校に向向いて合唱を発表したり、あいさつ運動を

行ったりして、子ども同士の交流も深めるなど、豊かな心を育てる教育も展開されています。

地域で子どもを育てるといふこと

道の指定を受けて実施してきた小中連携事業は今年度で終了しますが、町では次年度以降も、この取り組みを続けていきます。

中学校の建て替えが決まり、小学校に併設されることになりました。学校間の距離が近づくことで、教諭同士が連携を深め、児童生徒の特性などをつかみ、子ども一人ひとりに対し、きめ細かで適切な対応をとることができると考えられます。

心豊かな子どもに育てるには、学校や家庭だけではなく、地域の力も必要です。

小さなまちだからこそ持てる温かいつながり。子どもの笑顔はパワーに満ちあふれ、私たちに元気をくれます。子どもたちは、地域住民とのふれあいの中で受け取る温かい心を未来を描く力に変え、これからの比布町を作っていきます。

子どもはまちの宝。学校、地域、まち全体が一体となり、みんなが子どもを育てるまち。そんな素敵なまちで育つ子どもたちは、このまちを誇らしく思うでしょう。

比布中学校が 中央小学校の隣にやってくる！

比布中学校校舎を中央小学校の隣に新築すると聞いて、小学校と中学校が同じ敷地内に共立することがはたしてどういう感じなのか、私の中学時代の思い出を重ねながら想像してみました。

私が中学1年生になりたてのころは、先生や学び舎、授業内容、学校生活等の環境が大きく変わった中で淡々と時間が過ぎていき、しばらくの間は不安を感じながら学校生活を送っていたことを覚えています。それが、少し前まで通い慣れた小学校の隣にある中学校に登校し、小学生の時から交流授業等で見たとのことある先生に教えてもらおうとなれば、私が体験したような不安はとてもなくなくなるはず！と確信しています。

さらに同じ敷地内に顔なじみの小学生や小学校の先生が同居する環境下において彼らと接する機会もあることで、多感な中学生にとってより良い学び舎環境となるのではないかと思います。効率的な教育システムを構築する上で、当然ながら今まで通りにはいかない場面に直面することが多くなってくるかもしれませんが、小中学校の先生方をはじめとして学校教育に携わる方々や保護者が各方面で連携し、相互に理解しながら、いちごっ子の学校教育の歩みが新たな価値のあるステージに進むことを期待しています。



比布町立中央小学校
PTA会長 長尾 隆善さん

